

県生協連 NEWS

- 発行：徳島県生活協同組合連合会 ●発行日 2007年1月31日 (NO11)
- 住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内 30-3 ●電話、FAX：088-698-3910
- HP：<http://kenren.jccu.coop/tokushima/>



2006年12月3日(日) アスティーとくしまで開催された2006消費者交流大会にて、徳島県生協連が消費者活動推進功労者表彰を受賞しました。

目次

- 表紙 消費者活動推進功労者表彰式
- 1p 新年のごあいさつ(阿部和代会長)
- 2p キッズ料理コンテストお知らせ
- 3p キッズ料理コンテスト当日参加者レシピ
- 4p 会員報告(コープ自然派徳島、徳島県学校生協)
- 5p (徳島大学生協、徳島健康生協)
- 6p (徳島県職員生協、とくしま生協、牟岐東漁協)



新春のおよろこびを申し上げます

徳島県生活協同組合連合会

会長 阿部 和代

あけましておめでとうございます

みなさまは新しい年をどのようにお迎えになっておられるでしょうか。おだやかな新年をお迎えになられたでしょうか。昨年末から本格的な寒さがなかなかこない中で、地球温暖化など気候についての不安の聲がささやかれておりますが、ここ数年、年明けのあいさつがわりに「去年は異常気象でしたね」と言われておりましたが、今年もその例に漏れずこれまでよその国のことと思っていた竜巻など私たちの経験したことのないような自然災害にみまわれました。私たちの命やくらしをずっと支えつづけてくれている自然。徳島では豊かに流れる吉野川を中心に広がる田畑、緑の森、海といつも変わらず私たちの営みとともにありますよう、守っていくことの大切さを感じております。

去年は、ますます巧妙になる振り込め詐欺をはじめ消費者被害の拡大、親子の間での殺人事件、小学生までが自殺をするなど良心や命の尊さを踏みにじるような出来事が相次ぎました。また、医療制度の改定をはじめ福祉の後退や国民負担の増加、大企業と中小企業、都市と地方と広がる格差のなかでくらしをめぐっても希望という言葉が揺らいでしまうような年でした。

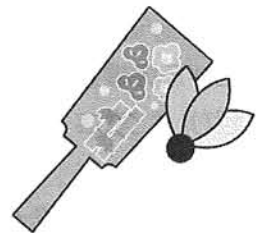
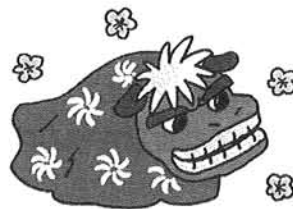
新しく誕生した安倍内閣のまずとりかかったことは教育基本法の十分な論議もないままの強硬な採決、防衛庁の省への昇格、今国会では採決を見送ったとはいえ国民投票法案、消費税の増税もとりざたされる税制改正への動きと、私たちのくらしや平和にとって不安な始まりとなりました。

新しい年、徳島の人々のくらしづくりの先に少しでも希望の灯をともせるよう力をあわせたいと思います。

おかげさまで、昨年、徳島県との間で緊急時の物資支援協定を結ぶことができ、12月に行われた消費者交流大会では消費者功労表彰を受けました。今年は、生協法の改正や消費者団体訴訟制度の充実など事業や運動にかかわる動きも大きくなっていくと思われます。

地域でますます頼りにされる存在になれるよう一歩一歩前へと歩を進めたいと思います。

本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



わたしたちの食の大切や健康をチェックしませんか？

米・こめ・KOMEキッズ料理コンテスト開催

お米についてのお話し

1. 企画 ……10:00～14:00(予定)

- ① 米・こめ・KOMEキッズ料理コンテスト開催 (10:00～12:00)
- ② 農政局の方によるお米のお話し (11:30～30分)
- ③ 健康生協による健康チェック (10:00～随時開催)
- ④ 平和の歌と健康体操 (13:00～)



2. 開催要項

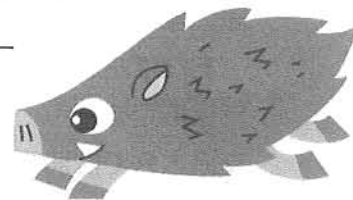
- ① 日程 ……2007年2月17日(土)
- ② 時間 ……10:00～14:00 (10時より随時受付)
※農政局の方による講演会は11:30～です。
- ③ 場所 ……北島町保健相談センター
- ④ 参加対象 ……どなたでも
- ⑤ 参加費 ……無料

当日、ご来場者には、特典がいっぱいあるよ…

- ① 試食
 - ・ あらめのまぜご飯
 - ・ そば米汁
 - ・ デザートなどの試食※レシピは、次ページ参照。
- ② 粗品プレゼント

今回のキッズ料理コンテストは、お米が大好きな小学生に昨年末にお米を使ったレシピを募集し、応募をいただきました。

レシピをもとにキッズ料理コンテストの本番にチャレンジしてもらいます。



米を中心にし、いろいろな食品を組み合わせた食事を見直しましょう。

ごはんに含まれる糖質は、頭やからだを動かすために必要な栄養素。お米のよさを見直して、白米や玄米はもちろんの事、雑穀を加えたり、調理法もバラエティに富んだりとお米料理を楽しみましょう。

また、この機会に健康についても考えていただければと思い、健康体操や健康チェックも予定しています。ぜひ、ご家族・ご近所の方をお誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

お問い合わせ ……徳島県生協連 事務局まで
住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤 / 内30-3 (とくしま生協内)
電話：088-698-0505

いっしょいっしょ ししど^o



あらめご飯

作り方

材料

あらめ	ひとつかみ
ごま油	大さじ1
ごま	好みで適量
油揚げ	1枚
ちりめんじゃこ	好みで適量
しょう油	適量
(ちりめんじゃこの兼ね合いで)	
ご飯	2合

- ① あらめは水でもどして、水を切る。
- ② 油揚げは細かく刻む(ちくわどむよい)
- ③ フライパンを熱し、ごま油を入れ、ちりめんじゃこ・油揚げ・ごまを炒め、①を加えて、しょう油で味付けをする(味加減は、ちりめんじゃこの量で変わります。味みをし下さい)
- ④ ご飯に③を混ぜ合わせてでき上がり(好みで、しょうが、青いそのせん切りをのせてもおいしい)

おいしいそば米汁

作り方

材料

そば米	鶏もも肉	適量
大根	油揚げ	
にんじん	こんにゃく	味付け用
ごぼう	ねぎ	
しめじ	(その他、野菜、きのこ、ちくわ等)	
いたけ		
みりん	しょう油	
うすろ	酒	
塩		
かつおぶし、昆布		(だし汁用)

一人分 お玉約1杯

- ① そば米を水で洗い、たっぷりの水で約1分ゆでる。上に浮いているアク・薄皮をすくい取る。
- ② ゆで上がったたら、ザルに取り、水を流しながら洗う。洗い終わったら水を切る。
- ③ だし汁を取る。
- ④ 大根、にんじん、鶏肉は小さく切り、だし汁で煮る。野菜が煮えたら、いたけ、しめじ、油揚げ、こんにゃくも小さく切って入れる。
- ⑤ ④にうすろ、しょう油、酒、みりん、塩で味を調え、ささがきにしたごぼうとそば米を加え、一煮立ちさせ、小口切りにしたねぎをちらす。

白玉せんべい

作り方

材料

白玉粉	100g
ご飯	100g
しょう油	少々

- ① ボウルにご飯と白玉粉を入れ、水 $\frac{1}{2}$ カップを少しずつ加えて身たぶくらいのかたさにねる
- ② ①を15等分して、クッキングシートの上に約1mm厚さに平たく伸ばし、電子レンジで乾燥させる。表2分、裏1~2分が目安。(1回に3~4枚できる)
- ③ オーブントースターで火焼き目を付ける
- ④ 取り出して、しょう油をぬる(好みで青のりをふる)

生活協同組合コープ自然派徳島

〒771-0135 徳島市川内町平石若松 204-6

TEL 088-665-8181 FAX 088-665-8182

Eメール fureai@shizenha.co.jp

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 環 滋子 ●専務理事 岸 健二

●組合員数 8,885人 ●事業高 12.1億円

日本の食文化をもっと見直しましょう！

日本人は食べることで自然を守ってきました。森に貯えられた水は、少しずつ表層に流れ出し、その水を利用して、米をつくりました。また森から栄養分に富んだ水が、川や海の水産物を育て、長らく日本人のタンパク源となってきました。

日本の食文化の背景には、森と水の循環系を守る文化があります。それは稲作漁撈文化とも言われています。自然を破壊することで成立している欧米の畑作牧畜文化とは全然違う、と思います。

世界の森林資源は、毎年日本に匹敵する面積が消失しています。その9割が食料生産のためだと言われています。今や世界は畑作牧畜文化が全盛で、このまま行くと世界は21世紀中に滅びると言われています。森からの水循環を無視して、水を無制限に使うならば、水資源は今世紀中に枯渇すると予測されているからです。

これから日本の食生活をさらに見直さなければなりません。日本食の代表、一汁一菜という食べ方は、まさに稲作漁撈文化そのものだからです。古今東西のなかでも、一番健康的であると評価されています（これはちょうど30年前アメリカ上院の栄養問題特別委員会が報告しました）。

また稲作漁撈文化のなかで育まれた「利他心」とか「思いやり」などの日本の精神は、これまでの個人主義に代わる新しい価値観になってくると思います。日本の食生活を見直すことで、もっと純粋に日本のよさを知り、自らの歴史や文化に自信と誇りが持てるようになればと思います。

これまでの生協活動のなかで森と川と海のつながりが見えてきました。しかし今、森が荒廃して、川や海も活力を失いつつあります。森の荒廃は、日本の稲作漁撈文化を衰退させることとなります。数年前からコープ自然派は、源流の森を守るために、里山の風景をつくる会と一緒に、吉野川源流の木を使った家づくりをはじめています。そしてその森の水で、源流米をつくってきました。

源流米も高知県土佐町全体の取り組みとなり、有機堆肥センター建設（地域ブランドの土佐の赤牛などの牛糞を集めて、堆肥にしています）、有機農業を支援する「有機のがっこう」が開校するまでになりました。これらの取り組みをさらに広げる2007年にできればと思います。

（専務理事 岸 健二）

徳島県学校生活協同組合

〒770-0874 徳島市南沖洲5丁目 7-65

TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332

●理事長 久保 修 ●常務理事 山下 敏光

●組合員数 8,420人 ●事業高 4.6億円

「いじめ解消への一提案」

いじめによる自殺が連鎖反応的に広がっている。小学校から高校生まで掛け替えのない若く尊い命が次々に失われていく。死を選ばざるを得ないほどいじめは子どもを苦しめたのである。何ともやり切れない気持ちである。自殺まではいかなくとも、不登校になることも多いのである。

いじめをなくす即効薬などなかろう。私は今こそ学校制度そのものを思いきって転換する時である。すなわち、首相の諮問機関である「教育再生会議」が課題として掲げる教育利用券（パウチャー）制の導入、教員免許の更新制導入、学校評価性の導入等をできるだけ早く実施に移すべきだと考える。

教育パウチャー制を取り上げてみよう。これは保護者に教育予算の一部を与える制度である。保護者（子ども）が学校を選び、パウチャー券をその学校に与える。この券が集まらない学校は学校の運営ができない。通学区もなくなる。学校間で競争原理が働く。学校毎によさと特色をどう出すかが勝負である。どの学校、校長・教員も必死に頑張るはずである。「いじめがない学校」をアピールする学校も出てこよう。保護者に選ばれない学校は消滅するしかない。

私はさらに一つのことを付け加えたい。それは、寮での集団生活をすべての子どもに体験させることである。しかも、例えば1年間など長期にする。学年も例えば小学校5年生などと決める。感性がみずみずしい時期の体験こそ貴重なのである。

寝食を共にする集団生活は子どもを鍛え、磨き、強くし、他との関わり方を学ぶのに役立つ。また、社会性や規範意識等も醸成される。

この集団生活で学び、身についたものがこどものその後の生活に及ぼす力は計り知れないほど大きい。

宿泊施設の建設等費用がかかり、教職員の負担も大きい。専門化や地域の協力も不可欠である。この期間に小さないじめが起こることもあろう。しかし、こどもは集団生活を通して、自己を見つめ、「集団の中の自分」が認識できるようになり、一回りも二回りも大きく成長するはずである。

これを思い切って迅速に実施に移してもらいたい。いじめの解消につながるだけでなく、こどもの未来を拓く生きる力になると信じる。

（理事長 久保 修）

徳島大学生協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1

TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811

●理事長 桑折 範彦 ●専務理事 清水 麻理子

●組合員 10,590人 ●事業高 12.7億円

<http://ha1.seikyuu.ne.jp/home/tokushima-shop1/page2.htm>

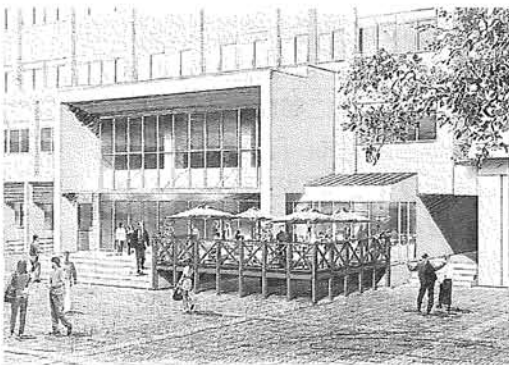
新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

昨年12月に新本部事務所に引っ越しました。20年間お世話になった旧事務所はすでに取り壊され、食堂内のトイレ建設に工事が始まっています。これまで約500席ある食堂にトイレがなく、利用者にご不便をおかけしておりましたが、これにより快適な食空間に一步近づいたと思います。また、これまでの本部事務所は間口が狭く、生協共済加入や給付、住まい紹介等でお越しいただいても、非常に狭く、利用しづらかったカウンターでしたが、新事務所は、できるだけ広くカウンタースペースをとり、ゆっくり相談や手続きができるようになりました。広さは約3倍となり、組合員活動のための会議室もできました。



【新】本部事務所（常三島キャンパス）

今年春に、蔵本キャンパスに新店舗「カフェテリア KURA-LA（くらら）」がオープンします。これで蔵本地区の組合員にも徳島大学生協が「食」を提供することができます。未永く組合員に愛される店にしていきたいと思ます。



（専務理事 清水 麻理子）

徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

●理事長 岡島 文男 ●専務理事 久保田 滋

●組合員 37,132人 ●事業高 41億円

<http://www2.tcn.ne.jp/~coopt/>

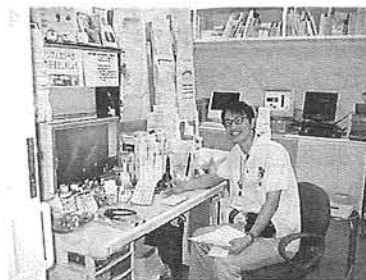
今年もよろしくお願いたします。

昨年は、とくしま生協さんの協力を得て、「健生きたじまクリニック」をとくしま生協北島店の駐車場に建設することができました。支援をして頂いた方々に心から感謝申し上げます。クリニックの所長は、小児科の専門医ですが、成人の方の診察も積極的に行っていくことにしています。ご家族そろってご利用ください。

徳島健康生協では、昨年来「再生プラン」を策定し、組合員ふやし、出資金増資、支部・班づくりに力を注いでいます。組合員ふやしでは、3,400人をこえ従来の4倍の成果をあげ、出資金増資では9千万円を超えて、これも従来の2倍の成果をあげています。年度末に向けて、全ての課題をやりきろうと現在も奮闘しています。

医療・介護事業をめぐるのは、大変厳しい情勢を迎えています。たくさんの仲間をふやし、生協の目的である「平和、暮らし、命と健康を守る」ために一層奮闘していく決意です。今後ともご支援をよろしくお願いたします。

（専務理事 久保田 滋）



会員年頭のあいさつ・近況報告

徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)

TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170

●組合長 渡邊 輝 ●専務理事 河野 征三

●組合員数 4,390人 ●事業高 5.4億円

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

県庁生協は、「良い品を安く」をモットーに、より多くの組合員が気軽に便利に利用できるよう、組合員の意見・要望などを取り入れながら組合員の立場に立った運営を心がけています。しかしながら、組合員の多様なニーズに応えられない面があり、供給高は減少傾向にあります。

今年は生協の原点に立ちかえり、組合員が真に要求しているものの把握に努め、組合員の福利厚生面の充実により一層寄与できる体制を整備することといたしております。食堂事業につきましては、米や野菜をはじめとする「地産・地消」への取り組み、売店事業につきましては、組合員のニーズを先取りできるような品揃えの充実を図ってまいりたいと考えております。

さて、県におきましては本年も「徳島冬のエコスタイル」を実施しており、県庁舎執務室の室温を17度に設定するなど温暖化対策をすすめております。生協も売店で「ウォームビズ商品の展示・即売会」を開催するなどの協力をしています。本年もどうかよろしく願いいたします。(専務理事 河野 征三)

生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 板野郡北島町中村字東堤ノ内 30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

Eメール webmaster@tokushimaseikyou.or.jp

ホームページ <http://www.tokushimaseikyou.or.jp>

●理事長 阿部 和代 ●専務理事 原田 正一

●組合員 95,322人 ●事業高 107.7億円

新年明けましておめでとうございます。ここ数年地球温暖化の影響か、厳しい寒さという表現が当てはまらなくなりました。朝、車のフロントガラスに霜がついて出発するのに苦労することがほとんどありません。とくしま生協は今年度ISO14001規格の認証取得に向けて準備をすすめていますが、環境に配慮した事業活動を強めていかなければならないと改めて感じます。

さて、私たちの暮らしをめぐる状況はますます厳しくなっています。小泉政権からあらたに安倍政権へと変わりましたが、基本的な路線の変更はなく、国民への負担はますます大きくなっています。毎年引き上げられる年金の保険料、今年から廃止される定率減税など枚挙にい

とまがありません。格差社会の問題も深刻です。昨年テレビで「ワーキングプア」の特集を行っていましたが、いざなぎ景気を越える好景気とは一部の大企業だけの話です。国税庁の発表では7年連続給与が減少したことが報じられるなど、私たちには実感できません。さらに社会保障を口実にした消費税引き上げの動きがあります。所得のない人からも税金を取る消費税の税率引き上げは格差をいっそう拡大することになります。

平和をめぐっても、憲法9条を変更し戦争のできる国にしようという動きが急速に広がっています。北朝鮮の核実験などあってはならないことが起こり、私たちの平和の願いとはかけ離れた方向へ動いています。

また、高齢化社会の問題や子育てを苦にした虐待や殺人、子どもが犠牲になる悲しい事件、消費者被害問題など生協としても何か少しでもその解決にお役に立てないだろうかと思えます。とくしま生協は相次ぐ競合店の出店もあり、経営的には引き続き厳しい状況が続いていますが、組合員から「ありがとう」と言ってもらえるレベルの高い業務をめざし、健全な経営を維持することで、さまざまな問題に取り組み地域社会に貢献できる存在でありたいと思っています。本年もどうぞよろしく願いいたします。(常勤理事 細川 尚光)

牟岐東漁業協同組合

〒775-0012 海部郡牟岐町大字牟岐浦字宮の本 268-4

TEL 0884-72-1141 FAX 0884-72-1140

Eメール marugin@nmt.ne.jp

●組合長理事 井元 健二

●組合員数 207人 ●事業高 2.0億円

「連帯」

辞書を引いてみました。連帯とは、二人以上が協力して事にあたること。このような説明がありました。言うまでもありませんが、協同組合の行動規範です。私たちの組合にも・・・1人でできないときは、みんなでやろう。それでもできないときは、専従者が受け持つ。このように連帯の本質を掲げ、毎年総会で、呼びかけております。総会には家族も一緒に参加することになっており、全盛期には500名を超え、にぎやかでした。

今は300名ギリギリまでになりましたが、呼びかけは変わりありません。一方、私ども漁業界では、県下1漁協合併構想が、全国的な規模で展開され、平成20年1月1日を目前に推進中です。1人(単協)でできないときは、みんな(39漁協)でやろう。それでもできないときは、専従者(国)が受け持つ。昨今の流れは協同組合的な考えや単協の自主・自立の精神をだんだんと遠ざけていくような感じがしてなりません。県生協連合会各位の連帯を、さらに高め、協同組合らしさをとりもどしたいものです。(組合長 井元 健二)